

新理事長就任の弁

「浄土宗としての平和課題」の構築 と実践を

本年5月10日に開催されました本協会理事会ならびに総会において、前理事長川副春海師の後を継ぎ、理事長に選任されました広瀬卓爾です。「平和」をめぐる諸課題への浄土宗教師としての能動的な取り組みと、平和実現への積極的な寄与が本協会の本旨であることは言を俟たないのでありますが、その実を挙げることが容易なことでもないこともいまさら述べるまでもありません。健康課題を含め自身の能力を省みますとき、日本国内外の「平和」問題に係る諸情勢が不安定さを増すまさにこの時期に、果たしてその重責を担うことができるのかと逡巡いたしました。私が選任される背景には、本協会の前身であります浄土宗平和推進協議会の設立(1988年)に、いささかの関与をさせていただいたこともあったことであろうとお受けいたしました次第です。どうぞよろしくお願い致します。

さて、日本仏教各宗派の中で、教団内委員会等に「平和」を冠する組織を有するのは浄土宗だけではありますが、それだけに、本協会が「平和」課題をどのように認識し、いかに取り組むのかについての設立当初における宗内外の関心は決して低くなかったと言って良いでしょう。

しかしながら、浄土宗平和推進協議会が設立された当初の理念と創設に関わった諸師の熱い想いは、いまも暁と継承されているのか否か、また寺院住職のみならず寺族等を含む浄土宗すべての構成員に本協会の存在が正しく認知されているのか否か等々に少なからぬ疑問を禁じえません。震災支援やNGO支援あるいはブックギフトが「平和」課題とどのような関連性を有しているのかを質ねる方もおられますし、以前は入会していたが協会の方向性が理解できないので退会したと申されるご住職もおられます。



本紙「ダーナ」第30号の巻頭において、前理事長川副師は、平和学の父とも呼ばれるヨハン・ガルトゥング氏の提唱する「積極的平和」を基本理念として諸事業展開の方針としたい旨を述べておられます。「積極的平和」を基調におくことは世界的潮流でもあり時代の要

請にも適うものであると、私も基本的にはこの方針を是と考えています。改めて川副師の慧眼に敬意を表するにやぶさかではありません。震災支援やNGO支援、ブックギフト事業などの諸事業はまさにこの「積極的平和」を基盤に企図された事業であります。その周知努力が不足していたために理解を得られなかった側面も否めず惜しまれます。長島善雄師、荻野順雄師、川副春海師と、三代三十年を経る本協会の意義深い諸事業の基本理念と内容の周知に努め

ご理解を得てお一人でも多くの方々の入会をを念じております。

さて、いま一つ大きな課題があります。それは、いわゆる「戦争責任」に関する総括ないし検証についてのものです。諸史料の収集に意を注ぎ、研究を積み重ね、それらを基に戦後総括を内外に表明する他宗に比して、本宗のそれは、やや表層的と言わざるを得ません。幸いにも、かつて浄土宗総合研究所が収集した貴重な史資料があります。もとより本協会は研究機関ではありませんし、「戦争責任」問題については立場を異にする幅広い議論もありますから、協会の専門委員諸師に加え、当該領域に精通される研究者の協力を得て一定のまとめを作成し、宗務総長に報告いたしたいと考えています。

改めて「設立当初の原点」に立ち戻り、宗当局と連携を密にしながら、時代に即応する「浄土宗としての平和課題」の構築と実践に精進するよう努めて参ります。従前にもまして皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いあげ、就任の挨拶といたします。

年次レポート

浄土宗平和協会

事業報告

平成29年度

浄土宗平和協会（JPA）では、浄土宗劈頭宣言にある「愚者の自覚」に立ち、「世界と共生する」ために、平和の問題に取り組み、皆さまから寄せられる浄財・平和念仏募金によりNGO支援、ブックギフト活動、浄土宗平和賞、スタディーツアーなどの事業を行っております。

ここでは、平成29年度の事業を報告するとともに、運営状況などを報告いたします。

ブック・ギフトは平成29年度も東京、関西、名古屋で実施

ブック・ギフト活動は、浄土宗平和協会（JPA）の主要な活動の一つで、東京都、愛知県、関西圏の大学・大学院に通学する私費留学生を対象にした事業です。、与えられた小論文課題を日本語で提出し、審査を経て合格した学生は、希望する図書を受領できる、というもの。平成29年度のブック・ギフトでは、28年度に希望図書の金額上限額を1万円以内から1万5千円以内としたことが、留学生から好評を博していることに鑑み、29年度も同額として実施しました。

授与式は、過年度通り、東京（大本山増上寺）、名古屋（建中寺）、京都（大本山百万遍知恩寺）の3ヵ所で行われ、合計46人の留学生が希望図書を受け取りました。

第10回浄土宗平和賞は該当者なし

「第10回浄土宗平和賞」の授賞式は5月10日、浄土宗平和協会総会に併せて、宗務庁（東京）で実施する予定でしたが、平成30年3月27日開催の理事会で協議した結果、該当者なしとしました。

その理由は、応募された団体の活動を詳細に検討した結果、浄土宗平和賞の選考基準となる「公益のための活動」という観点に照らし、当該団体の活動地域と対象が限定的であるのではないかとこの意見が多数を占めたため「該当なし」という結論となりました。

第11回には、平和賞の趣旨を理解され多くの応募あるいは推薦を期待していません。

平成29年度をもって川副理事長以下役員が辞任

平成27年度に就任した川副春海理事長を始め10人の理事と監事2名、事務局長から辞任届が提出され、平成30年度総会をもって、辞任が認められた。

平成29年度 浄土宗平和協会事業報告
(平成29年4月～平成30年3月)

- 5月 監査会
2日(火)14:00～/京都宗務庁
平成29年度総会
11日(木)14:00～/浄土宗教化研修会館
第9回浄土宗平和賞贈呈式・NGO活動紹介
11日(木)15:00～/浄土宗教化研修会館
- 7月 ブック・ギフト 応募要項配布
- 9月 ブック・ギフト 応募者受付開始
ブック・ギフト 応募締め切り
- 10月 平成29年度会費請求、会員募集
会報ダーナVOL.30(年次報告書)発行
ブックレット「寺院縮小時代における(社会貢献)を考える」発行
- 11月 第10回浄土宗平和賞募集
第1回正副理事長会議
28日(火)10:00～/宗務庁(東京)
第1回理事会
28日(火)13:30～/宗務庁(東京)
- 12月 平和誓願の集い
15日(金)滋賀教区教務所
第10回ブック・ギフトin TOKYO 希望図書授与式
10日(日)15:00～/大本山増上寺
第7回ブック・ギフトin KANSAI 希望図書授与式
3日(日)15:00～/大本山知恩寺
第5回ブック・ギフトin NAGOYA 希望図書授与式
17日(日)14:00～/建中寺
- 3月 会報ダーナVOL.31 発行、平和念仏募金のお願い
第10回浄土宗平和賞募集締め切り
第2回理事会
27日(火)13:30～/宗務庁(京都)

平和念仏募金による支援NGO・NPO一覧

団体	プロジェクト名	援助額
① 日本国際ボランティアセンター(JVC)	アフガニスタン/アフガニスタン・ナンガハリ県北東部における女性と子どもの健康を守る住民主体の生活改善事業	¥700,000
② パレスチナ子どものキャンペーン	シリア/シリア避難民への食料配布事業	¥500,000
③ 反差別国際運動(IMADR)	ネパール/ダリット女性に対する暴力の削減プロジェクト	¥500,000
④ NPO法人アースキャラバン	アースキャラバン2017/国内・アメリカ・カナダ・バングラデシュ・パレスチナ・イスラエル他	¥200,000
⑤ こども食堂「寺子屋カフェ」	ひとり親支援「シンママ熊本応援団」	¥500,000
計		¥2,400,000

平成29年度 浄土宗平和協会収支決算書
(自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日)

■収入の部

款	項	予算額	決算額
(1) 会費		6,100,000	5,592,000
	①正会員会費	6,000,000	5,500,000
	②賛助会員会費	100,000	92,000
(2) 寄付金		2,300,000	2,034,722
	①平和念仏募金	2,300,000	2,034,722
(3) 助成金		950,000	889,463
	①浄土宗助成金	950,000	889,463
(4) 雑収入		30,000	7
	①雑収入	30,000	7
(5) 繰入金		1,000,000	1,000,000
	①基金繰入金	1,000,000	1,000,000
(6) 繰越金		1,532,987	1,532,987
	①前年度繰入金	1,532,987	1,532,987
収入合計		11,912,987	11,049,179

■支出の部

款	項	予算額	決算額
(1) 事業費		8,310,000	7,921,670
	①NGO・NPO団体支援金	2,400,000	2,400,000
	②ブック・ギフト費	1,000,000	941,315
	③平和大会等関連費	550,000	500,000
	④会報費	2,300,000	2,405,755
	⑤啓発・普及費	1,000,000	874,800
	⑥スタディーツアー関連費	10,000	0
	⑦支部事業助成費	200,000	200,000
	⑧各種団体連帯費	150,000	30,000
	⑨調査研究連帯費	700,000	569,800
(2) 会議費		1,560,000	716,482
	①総会費	160,000	220,446
	②理事会費	800,000	421,736
	③正副理事長会費	200,000	70,780
	④事務局会費	400,000	3,520
(3) 事務費		1,010,000	299,645
	①事務費	1,000,000	285,185
	②旅費	10,000	14,460
(4) 繰出金		500,000	1,000,000
	①基金繰出	500,000	1,000,000
(5) 予備費		532,987	0
	①予備費	532,987	0
支出合計		11,912,987	9,937,797

平和基金	
平和基金	17,741,254

年次レポート

浄土宗平和協会

事業計画

平成30年度

平成30年度の浄土宗平和協会は、新たな体制となつての船出となります。「平和」を冠する組織として、「平和」課題をどのように認識し、いかに取り組むのかについて再定義していく一年となるでしょう。

事業については、平和念仏募金によるNGO・NPO支援やブック・ギフト、浄土宗平和賞、軸になる今年度も継続しますが、新体制で各事業の今後のあり方について検討いたします。

今年度も、浄土宗平和協会（JPA）のご支援をよろしくお願い申し上げます。

新体制となって、新たな会のあり方を模索します

平成30年度総会において、広瀬卓爾新理事長以下、10名の新理事が選任され、新体制での会運営がスタートしました。

広瀬理事長は本誌巻頭言で、前理事長川副師が、昨年度標榜した「積極的平和」を基本理念として諸事業展開の方針を是と考えています、と述べています。「積極的平和」という理念とNGO・NPO支援やブックギフト事業などの諸事業の意義との整合性の説明、また基本理念と内容の周知を高めるで会員の増加を図りたいとも示しています。

新しい体制で、「平和」の意味を問い直し、浄平協の役割を明らかにしていくことを目指します。

ブックギフトは今年も東京、関西、名古屋で実施

ブック・ギフト事業は東京で11回目を数えます。8回目の関西、6回目の名古屋と例年通り3地区で開催します。今年度は希望図書の上限金額を2万円とします。留学生が希望する専門的学術図書が高額であることに応えるための措置ですが、これまでの事業を検証した結果、学生の希望図書が、本事業の趣旨に適したものであるかどうかなどについての検討を要する点もあり、授与にあたっては慎重を期したいと考えています。

応募者は、東京、関西、名古屋ともに、勉学に意欲的な学生たちが、応募しています。授与式は東京では大本山増上寺にて12月2日に、関西では大本山百万遍知恩寺にて12月2日、名古屋では名古屋市建中寺にて12月16日の開催する予定です。

私費留学生を激励する意味からも、お一人でも多くの会員諸師のご出席を希望いたします。

第11回浄土宗平和賞の募集をします

浄土宗平和賞は今年で11回目を数えます。29年度は「該当なし」となりましたが、会員様からぜひ多くの推薦をいただき、公益のための活動を行っている浄土宗寺院・教師を顕彰し、支援したいと思えます。

今年も平和念仏募金を行い、NGO・NPOを支援します

平成10年度から全浄土宗御寺院のご理解のもとに実施してまいりました平和念仏募金の呼びかけを今年度もまた12月に行う予定です。

平和念仏募金を原資としたNGO・NPO支援は、一事業5年という期間を設け、NGOの活動によって、数多くの海外の困難な状況に置かれている人々を間接的に支援してきました。

29年度より、国内NPOの支援も開始、今年度は昨年と同様に1団体の支援となりますが、今後は支援の拡大を目指します。

平成30年度 浄土宗平和協会事業計画 (平成30年4月～平成31年3月)

4月	第1回正副理事長会議 10日(火)13:00～/宗務庁(京都)
5月	監査会 3日(木)・6日(日) 平成30年度総会 10日(木)14:00～/宗務庁(東京) NPO活動紹介 10日(木)14:00～/宗務庁(東京)
7月	ブック・ギフト 応募要項配布 会報ダーナVOL.32(年次報告書)発行 平成30年度会費請求、会員募集
9月	第1回正副理事長会議 ブック・ギフト 応募者受付開始 ブック・ギフト 応募締め切り
11月	第11回浄土宗平和賞募集 第1回理事会
12月	第11回ブック・ギフトin TOKYO 希望図書授与式 2日(日)15:00～/大本山増上寺 第8回ブック・ギフトin KANSAI 希望図書授与式 2日(日)15:00～/大本山知恩寺 第6回ブック・ギフトin NAGOYA 希望図書授与式 16日(日)14:00～/建中寺 平成30年度予算折衝 会報ダーナVOL.33 発行、平和念仏募金のお祝い 第11回浄土宗平和賞募集締め切り
1月	第2回正副理事長会議
2月	第2回理事会
3月	事務局会 随時

平和念仏募金による支援NGO・NPO一覧

団体	プロジェクト名	援助額
① 日本国際ボランティアセンター(JVC)	アフガニスタン/アフガニスタン・ナンガハル県北東部における女性と子どもの健康を守る住民主体の生活改善事業	¥700,000
② パレスチナ子どものキャンペーン	シリア/シリア避難民への食料配布事業	¥500,000
③ 反差別国際運動(IMADR)	ネパール/ダリット女性に対する暴力の削減プロジェクト	¥500,000
④ NPO法人アースキャラバン	アースキャラバン2018/国内・アメリカ・カナダ・バングラデシュ・パレスチナ・イスラエル他	¥200,000
⑤ こども食堂「寺子屋カフェ」	ひとり親支援「シンママ熊本応援団」	¥500,000
計		¥2,400,000

平成30年度 浄土宗平和協会収支予算 (自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日)

■収入の部

款	項	30年度予算額	29年度予算額
(1)	会費	6,100,000	6,100,000
	①正会員会費	6,000,000	6,000,000
	②賛助会員会費	100,000	100,000
(2)	寄付金	3,000,000	2,300,000
	①平和念仏募金	3,000,000	2,300,000
(3)	助成金	1,050,000	950,000
	①浄土宗助成金	1,050,000	950,000
(4)	雑収入	30,000	30,000
	①雑収入	30,000	30,000
(5)	繰入金	1,000,000	1,000,000
	①基金繰入金	1,000,000	1,000,000
(6)	繰越金	1,111,382	1,532,987
	①前年度繰入金	1,111,382	1,532,987
収入合計		12,291,382	11,912,987

■支出の部

款	項	30年度予算額	29年度予算額
(1)	事業費	7,510,000	8,310,000
	①NGO・NPO団体支援金	2,400,000	2,400,000
	②ブック・ギフト費	1,000,000	1,000,000
	③平和大会等関連費	550,000	550,000
	④会報費	2,300,000	2,300,000
	⑤啓発・普及費	10,000	1,000,000
	⑥スタディツアー関連費	200,000	10,000
	⑦支部事業助成費	200,000	200,000
	⑧各種団体連帯費	150,000	150,000
	⑨調査研究連帯費	700,000	700,000
(2)	会議費	1,560,000	1,560,000
	①総会費	160,000	160,000
	②理事会費	800,000	800,000
	③正副理事長会費	200,000	200,000
	④事務局会費	400,000	400,000
(3)	事務費	1,100,000	1,010,000
	①事務費	1,000,000	1,000,000
	②旅費	100,000	10,000
(4)	繰出金	1,000,000	500,000
	①基金繰出	1,000,000	500,000
(5)	予備費	1,121,382	532,987
	①予備費	1,121,382	532,987
支出合計		12,291,382	11,912,987

平和基金	
平和基金	17,741,254

活動報告

「シンママ熊本応援団」

平和念仏募金によるNGO支援は、当協会が設立から行ってきた事業で、国際的に活動する団体を支援してきました。他方国内でも様々な社会的課題が山積する中、その課題解決のために多くの非営利団体が活動をしています。平成29年度より当協会でも国内の非営利団体の支援を決定、その第1号が「シンママ熊本応援団」です。ここでは、「シンママ熊本応援団」の活動を紹介します。

こども食堂「寺子屋カフェ」3つの支援

① シンママ支援

- 生活困窮児童の救済=母親支援(生活支援~就労支援)
●PTSDの緩和(心的外傷後ストレス障害)

② こ食生活者支援(孤・個・子)

- 時間の貧困、愛情の貧困
●DV被害者

③ 被災者支援

- 緊急時対応→生活再建相談、孤独死の未然防止
●PTSDの緩和(心的外傷後ストレス障害)

ひとり親支援
「シンママ熊本応援団」設立
2017年4月1日
http://shinmama-kumamoto.com/

【支援の流れ】

- 傾聴支援
●物的支援(支援物資「スペシャルボックス」の配送/毎月)
●医療支援
●公的支援制度や専門家への同行支援(生保、自己破産含む)
●交流の場(Cafeの開催を通して「助けて」といえる関係づくり)
●学習支援(シンママキッズ倶楽部/体験学習含む)

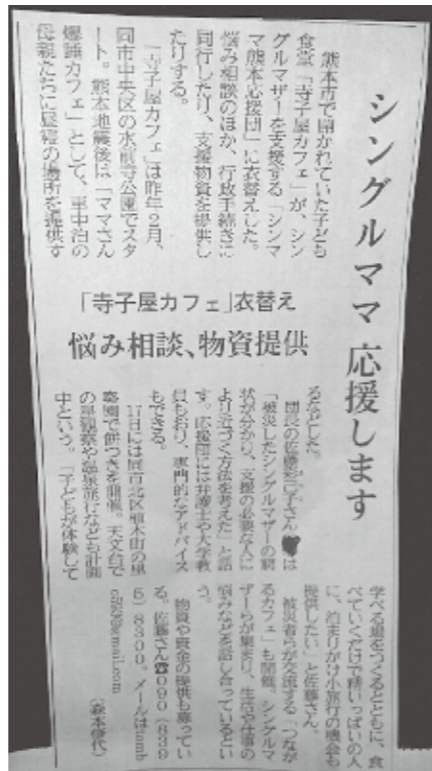
【今後の目標】

- ★修学支援★(給付型奨学金制度)
★就労支援★(職業訓練校、事業所との連携)



各支援チームの皆さんとシンママさんとの「お悩み抽出ワークショップ」

熊本日日新聞社
H29.12/16 掲載



いま世界に、平和念仏の声を届ける！
創立30周年に向けて新役員の出陣で浄平協は次のステージへ

浄土宗平和協会は平成30年に新役員が選出され下記の新体制になりました。ここでは正副理事長の略歴を紹介します。



理事長 広瀬卓爾

1945年生まれ。大正大学文学部卒業。中央大学大学院(博士前期課程)卒業。大正大学助手・専任講師、佛教学専任講師・助教授を経て1992年佛教学部教授。2016年佛教学部定年退職、現在は佛教学名誉教授。専門は社会病理学・犯罪社会学。宗内では、宗勢調査委員会委員長、浄土宗平和推進協議会常任理事などを歴任する。



副理事長 山北光彦

1952年生まれ。中京大学体育学部健康教育学科卒業。1976年より2003年まで浄土宗宗務所に奉職、2011年より2015年までは人権同和室室長を務める。そのほか、同和問題にとりくむ宗教教団連帯会議事務局長、全日本仏教会社会人権審議会委員、世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会理事などを歴任する。



副理事長 深谷雅子

1942年生まれ。福山女学園大学家政学部卒業。東海学園女子短期大学助手などを務め、PTA・子ども会など地域コミュニティと関わる。法務省人権擁護委員、愛知県女性問題懇話会委員を歴任、1993年からインドに学校再建を支援するFICOに参加し、海外援助に取り組む。尾張教区西方寺寺庭婦人。

浄土宗平和協会役員名簿

任期:平成30年5月10日~平成31年5月9日

Table with columns for Role (役職), District (教区), Temple Name (寺院名), and Name (氏名). Lists members including Chairman, Vice Chairmen, Directors, and Secretaries across various districts like Saitama, Osaka, and Fukuoka.

浄土宗平和協会 (JPA)

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワーク運動として、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。

入会要項

浄土宗平和協会 (JPA) の活動にあなたも参加しませんか？

正会員

対象……浄土宗教師・寺族
会費……年間 10,000円

賛助会員

対象……檀信徒、企業や宗教法人以外の団体
会費……檀信徒会員年間 2,000円
法人会員年間 10,000円 (一口)

賛助会員は、応援に感謝を込めて、会報ダーナに芳名を掲載します。

ご希望の方には詳しい案内が掲載された協会のパンフレット (入会用振込用紙つき) を同封いたしておりますのでご利用ください。

平和念仏募金のご協力をお願い

平和念仏募金は、各NGOやNPO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、浄土宗平和賞などの事業に充てられます。

何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆平和念仏募金は、平和・環境・福祉・人権などの諸問題に取り組むための基金に充てられます。

◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する——との方針のもと、NGOやNPOを支援しております。

◆私費留学生希望図書購入支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生の勉学支援をしています。

浄土宗平和協会 4つ活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブック・ギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 スタディツアー・NGO・NPO 支援

浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……廣瀬卓爾
副理事長……深谷雅子
山北光彦
理事……東海林良昌
齋藤隆尚
小口秀孝
野上智徳
山川正道
名越邦博
永江憲昭
専門委員……戸松義晴
大谷栄一
茂田眞澄
大河内大博
参 与……荻野順雄
川副春海
監 事……倉井正則
山下裕通
事務局長……福井純史
事務局……池野亮光
秦 文彦
霜村真康



浄土宗平和協会

Jodo Shu Peace Association (JPA)

〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 浄土宗人権同和室内
電話 075-525-0484 Fax 075-531-5105

連絡・問合せ先：浄土宗平和協会事務センター

〒614-8016 京都府八幡市山路29-1 念佛寺内
電話&FAX：075-981-8788 メール：puk-puk@wf6.so-net.ne.jp
郵便振替口座【01020-5-16369 名義：浄土宗平和協会】

事務局移転の お知らせ

新体制発足に伴い事務センターが下記に移転しました。
今後ともよろしく願いたします。

〒614-8016 京都府八幡市八幡山路29-1 念佛寺内
電話&FAX：075-981-8788 Email：puk-puk@wf6.so-net.ne.jp